

正しく知って みんなので支える 認知症

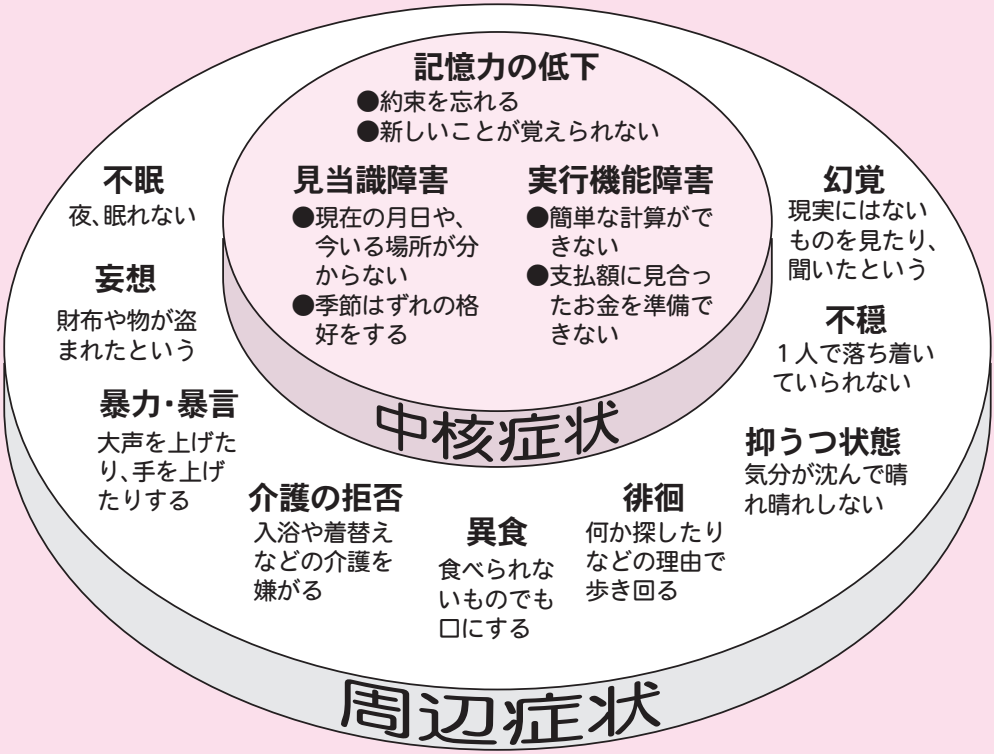
認知症とは

認知症とは脳が老化したり、脳の機能に異常が起きたりして、記憶力や判断力などが低下し、生活に支障をきたす病気のことです。

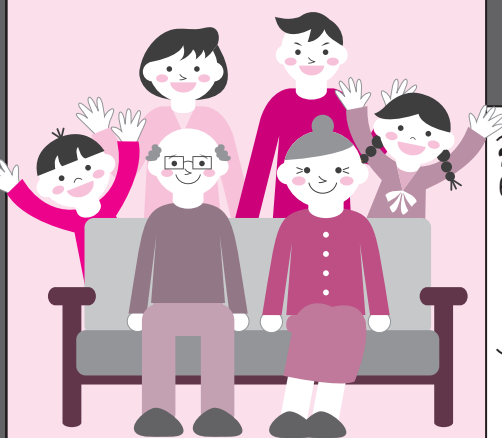
認知症の症状には、必ずみられる「中核症状」と、性格や環境などの要因により現れ方が異なる「周辺症状」があります。

認知症の症状を起こす原因となる病気はいくつもあります。一見、認知症のような症状を示している場合、実は別の病気という場合もあります。

認知症の症状は、いつ始まったのか明確に分からないまま進行することが多く、治療薬の服用や、生活習慣の改善、対応の仕方で行進を遅らせる可能性があるので分かってきています。早期に発見し、早期に受診することに努めましょう。



問合先
長寿課地域支援事業担当
(☎) 65・2120



認知症の方への対応の心得

- ①自尊心を傷つけない**
理解できない行動にも本人なりの理由があります。自尊心を傷つけることはしないで、気持ちに寄り添った対応を心がけましょう。
- ②せかさない**
認知症になってもゆっくりであればできることもたくさんあります。ゆっくりと分かりやすく伝えることを心がけましょう。
- ③笑顔で接する**
理解できなくても表情や感情は伝わりやすいです。笑顔で接するだけで安心できます。

それぞれが自分にできることを行い、協力し合って、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるようにしましょう。

♥A 認知症講演会

『知ってる？ 認知症
いつまでも住み慣れた地域で
暮らせるまち西尾をめざして』

認知症は、歳をとれば誰もがかかる可能性のある身近な病気です。認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、周りの人たちの協力が不可欠です。まずは、認知症とはどういう病気かを知りましょう。
対象 どなたでも参加できます。

日時 7月30日(火)
午後1時～4時

会場 文化会館小ホール

内容 ①講演「わかりやすく学べる認知症」
②認知症介護体験談
③シンポジウム



講師 メドック健康クリニック 阿部祐士氏

♥K 認知症サポーター養成講座

認知症の勉強会の出前をします。
対象 市内在住または在勤の方で構成する10人以上のグループ
講座時間 90分程度(応相談)
費用 無料(会場が有料の場合は自己負担)
その他 会場を準備してください。また、この講座への参加者にはオレンジリング(認知症サポーターの印です)をお渡しします。
申込方法 開催1か月前までに長寿課地域支援事業担当へ。



認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、周りの人たちの協力が不可欠です。

正しく
知ろう

みんなで支える5つのカード

一人で
悩まないで

認知症の方を1人で支えることは困難です。自分だけで抱え込まず、家族や周囲の人々に助けを求めましょう。

♥10 地域包括支援センター

地域の高齢者に関する総合相談窓口として、地域包括支援センターを市内に7か所設置しています。お住まいの地域ごとに担当の地域包括支援センターが決まっています。詳しくは広報にしお5月16日号5ページをご覧ください。

♥J 認知症介護家族交流会

同じ介護者だから分かる悩みを、一緒に話し合ってみませんか。
対象 認知症の方を介護している家族
日時 7月24日(水) 午後1時30分～3時30分
場所 市役所53ABC会議室(5階)
費用 無料(場合により飲食代等実費負担あり)
その他 事前申し込みは不要。
※毎月1回行っています。今後の日程は広報にしおなどでご確認ください。

♥Q

認知症介護家族教室

認知症について学び、交流会を行います。日々の悩みや不安を話し合い、介護の負担を少しでも軽くしてみませんか。
対象 初期から中期の認知症の方を介護している家族
日時 9月11日～26年2月12日の毎月第2水曜日 全6回
午後1時～4時
※初回は午前10時～午後2時
場所 市役所53ABC会議室

(5階)
定員 20人
費用 無料
※初回は昼食代が必要。
申込方法 8月26日(月)までに、申込書に必要事項を記入の上、直接またはファクスで長寿課地域支援事業担当(FAX 64・0995)へ。申込書は同課、各支所、各地域包括支援センターに用意。